

汽水・淡水産魚類

種名	トビハゼ (<i>Periophthalmus modestus</i>)
指定をする理由	本種の生息地及び摂餌場所がいずれも泥干潟であることから、県内における生息地は、極めて限られており、本来、希少な種である。最大の生息地であった浦戸湾は、散発的に見かける程度の危機的状況にあり、浦の内湾及び仁淀川左岸も絶滅又はそれに近い状態にある。
形態	体は円筒状で、後方に向かって側扁する。頭の背縁は眼の前方で急下降するため角張る。眼は上方に突出し、互いに接近する。泥上を胸びれで這い、尾部で跳躍する。
生息分布状況	内湾や河口域の泥干潟に生息する。年間の生活サイクルは3～11月の活動期と11～3月の休止期に分けられる。活動期には昼間の干潮時に分散して、干潟を跳びはねながら小動物を捕食する。満潮時には岸辺の石などにはい上がり、次の干潮を待つ。休止期には巣穴にこもり餌もとらない。
種の存続を脅かす要因	干潟の埋め立てによる生息場所の消失と、干潟の消失による水質と底質の自己浄化機能の喪失。
保護に関する指針	本種の捕獲等については、県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の捕獲等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	VU(絶滅危惧Ⅱ類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	<ul style="list-style-type: none"> ・種の存続に支障をきたす程度の個体数の減少 ・生息地の環境が著しく悪化若しくは消滅しつつある種
	
<p>写真:岡村 「高知県レッドデータブック(動物編)2002」より</p>	